

## 安心できるまちづくりを!

### 平成19年消防出初式

1月8日、ホワイトキューブにおいて、毎年恒例となった消防出初式が開催され、620名の消防団員の皆さんが点検作業など、日ごろの訓練の成果を披露しました。

今年は、ひかり幼稚園の幼年消防クラブの園児たち約100名が「防火の誓い」を行った後、消防団伝統階子乗り隊が2基での演技披露を行いました。昨年11月には、市民有志が階子乗り隊を応援しようと保存会を設立しています。



▲2基のはしご乗りが披露

## サッカー大好き! 元旦からシュート!

### 白石サッカー協会「けり初め」

1月1日、白石川サッカー公園で、白石サッカー協会主催の「けり初め」が開催され、小学生からシニアまで、幅広い年代のサッカー愛好者が参加しました。



▲今年初めてのシュート!

昭和43年の元旦から開催されているけり初めは今年で39回目。今年は市内外から約100人が参加し、恒例となったシニアとユースの部に分かれての紅白試合が行われ、元旦から素晴らしいシュートがゴールネットを揺らしていました。

## 謹賀新年、今年もこけし村へ!

### こけしの初挽き

1月2日、弥治郎こけし村に隣接する小野宮権親神社(通称こけし神社)で「こけしの初挽き」が行われました。



▲熟練の技を披露する3工人

今年初挽きを行ったのは、地元弥治郎系の鎌田孝志さん、遠刈田系の六郷仁美さん、鳴子系の早坂利成さんの3工人。こけし愛好家や観光客など、大勢の人が見守る中で熟練の技を披露しました。出来上がった新年最初のこけしは、一年の無事と繁栄を願って神社に奉納されました。

## 当市の誇り、匠の技は今年も健在

### 日本刀打ち初め

1月2日、宮城県指定無形文化財保持者の刀匠・宮城昭守さんと長男の典真さんによる恒例の「日本刀打ち初め」が行われ、その様子を一目見ようと、早朝から刀剣愛好家などが大鷹沢三沢の刀剣鍛錬所に足を運びました。打ち初めでは、日本刀の原材料である玉はがねを熱してたたき、薄く伸ばしてその品質を見る「玉つぶし」が行われ、つちを振るう力強い動きと共に、真っ赤な玉はがねから火花が飛び散っていました。



▲親子二代、日本刀に思いを込めて

## 地域の伝統を次世代へ引き継ごう

### 齋川小の1・2年生が団子刺しを体験

1月12日、齋川小学校でだんご刺しが行われ、1・2年生21名が小正月の伝統行事を体験しました。



▲団子を飾り付ける子どもたち

この行事は、昔の正月を子どもたちに体験してもらおうと毎年行われているものです。地域の老人クラブなどの皆さんに教わりながら、子どもたちは食紅を混ぜたもちを団子状に丸め、ミズキの枝の一つひとつ丁寧に飾り付けていきました。完成後、もちの花が美しく咲いた木に歓声が上がっていました。

## 小原体験教室しめ縄作り・もちつき

(12月24日、材木岩公園内検断屋敷)

地元の子どもたちに昔の正月を体験してもらおうと開催されたこの教室。参加した小原小学校の児童20名の皆さんは楽しくおいしく、伝統の技を学んでいました。



▲出来栄はいかがですか?

## みやぎ蔵王白石スキー場開き

(12月22日、白石スキー場)

風間市長をはじめ約150人の来賓や関係者などが出席し、今シーズンの盛況と事故防止を祈願した後、風間市長のスキー場開き宣言とテープカットを行いました。



▲今シーズンの盛況を祈ってテープカット

## やまぶき園利用者と地元の皆さんの交流会

(12月12日、やまぶき園)

今年で10回目を迎えた、園利用者と地元南町の自治会員でつくる「ボランティアみなみの会」の皆さんの交流会。歌やゲームなどで楽しいひとときを過ごしました。



▲共通の願いは「今後も末永い交流を！」

## 風間市長の「虫のナニヤキ」命

「陸(りく)」、「陽菜(ひな)はるな、ゆな」。この名前が何の名前かご存じでしょうか? 実は、昨年誕生した赤ちゃんに付けられた名前の、男の子と女の子の一番人気なのです(民間企業調査)。ちなみに男の子の2位が「大翔(ひろと)」、はると、たいと」、3位が「大輝(だいき)」、たいき、ひろき)。女の子では「美羽(みう)」、が2位、「美咲(みさき)」が3位だったそうです。ちなみに以前このコラムで書いた、秋篠宮家の長男悠仁さまが生まれた効果で「悠(ゆう)」の字も人気があり、「悠斗(ゆうと)」が6位で、「悠人・悠」が100位以内に入ったそうです。

方々には子どもと共に成長し、親としての自覚が向上していくことを願います。ちなみにわが白石では、昨年一年間に約250人の新しい命が誕生しました。今年「亥」とは猪(イノシシ)のことです。イノシシは日本人にもなじみが深い。猪(イノシシ)の持つ家族愛や子どもにやさしい心豊かな白石を「共汗・共学・共生」をキーワードにし、わが街ふるさと白石を共創してい

きましよう。変わらぬご協力とご理解をお願いします。「命」とは、平成18年の世相を表す一文字です。これは「天の意向を自分の責任として自覚し、天の定めを避けたいものと自覚したもの。天から授けられた生きる定め」などの意味があり、「あつめ

## 【12月号の答え】

遠い昔、中国では「三」という数字は「天・地・人」を表していました。つまり「三」は森羅万象の世のすべてを表す数字だったのです。また、「三」に通じ、「混



子どもの誕生というのは、古今東西変わらぬ慶事です。授かった命ですので、新生児の健やかなる発育を祈りますし、親となられた

く、「古事記」や「日本書紀」にも登場しています(読んだことはありませんが、本の受け売りです)。「亥」という字は、イノシシの骨格を縦に描いた象形文字で、「忍耐強く向上心に富む反面、やや柔軟性に欠ける面がある」という意味を持っています。イノシシ

はイノシシの持つ家族愛や子どもにやさしい心豊かな白石を「共汗・共学・共生」をキーワードにし、わが街ふるさと白石を共創してい

るしるし十人十口」で、人々を集めて口で意向を表明し伝えるさまを示しています。授かった命を粗末にしたり、また、させたりしないよう、各人が相手の立場になって考えたり、行動したり発言できるように心掛けましょう。まずはあ

いさつから...。また、「三」に通じ、「混